

華 68 号

令和 5 年 2 月 発行

年 末 年 始 に 取 り 込 み ご と が あ り ま し て、
新 年 号 の 発 行 が 遅 れ ま し た が、本 年 も 何 卒
よ ろ し く お 願 い 申 し 上 げ ま す。

年 頭 に は、「世 の 安 寧」を 祈 念 致 し ま す が、
残 念 な が ら こ こ 数 年 そ の 願 い が 叶 え ら れ た
と は 申 せ ま せ ン。

し か し、こ の よ う な 時 代 こ そ 私 た ち が 精
一 杯 工 夫 ・ 努 力 し、力 を 合 わ せ て 乗 り 切 ら
な け れ ば な り ま せ ン。

「艱 難（かんなん） 汝（な）を 玉 に す」の 諺 が
示 す よ う に、逆 境 を 生 か す こ と が 重 要 で す。

コ ロ ナ 禍 で は、衛 生 意 識 が 一 段 と 向 上 す
る と と も に、「密」を 回 避 し た 活 動 も 盛 ん
に な り 多 く の 方 か ら 評 価 も 頂 き ま し た。物
価 高 へ も 知 恵 を 絞 る こ と に よ り、一 定 の 改
善 を 図 っ て い ま す。

ま た、忌 ま わ し い 武 力 行 使 を き っ っ け と
し た 支 援 活 動 を 通 じ て の 国 際 的 連 帯 の 強 化
と と も に 世 界 平 和 の た め に 何 が 大 切 か を 真
剣 に 考 え る 機 会 と も な っ て い ま す。

我 が 国 も 八 十 年 前 の 誤 っ た 選 択 の 反 省 と、
そ の 後 目 覚 ま し い 発 展 を 遂 げ た こ と な ど を
踏 ま え、平 和 を 守 る た め に 実 効 性 の 高 い 取
り 組 み が 不 可 欠 で す。

改 め て、来 年 頭 に は「素 晴 ら し い 前 年」
を 語 り 合 え る よ う、心 か ら 願 っ て お り ま す。

ふじだな

編 集 部
〒 5 6 7 - 1 0 0 3 5
茨 木 市 見 付 山 1 - 3 - 2 9
電 話 0 7 2 - 6 6 5 5 - 5 1 6 6
F A X 0 7 2 - 6 6 5 5 - 5 1 6 6

社会福祉法人 慶徳会のホームページ

<http://www.keitokukai.or.jp>

hana68-1

介護職員初任者研修

令和 4 年度 介護職員初任者研修は、4 名（一般の方 1 名・法人職員 3 名）の方の参加により、同年 9 月 3 日（土）に開講以来、土・日曜のうち都合 21 日間の受講を終え、12 月 17 日（土）に無事全員が修了式を迎えることができました。

酷暑の時期から木枯らしの季節までの 4 カ月間を勤務されながら研修皆勤を達成した方を含め、皆さん高い出席率で受講に精励されました。

修了記念写真



実務者研修



初任者研修

実務者研修修了証明書を授与

4 名が修了

令和 4 年 4 月 1 日に開講した「慶徳会介護職員実務者研修」は、6 回のレポート提出や 7 月からの 9 回のスクリーニングを終了し、9 月 24 日（土）に修了証明書授与式を行いました。

第 7 波のコロナ感染が広がる中、8 月に受講者 1 名が感染、又、最終の医療的ケア演習の前日に濃厚接触した方があり、補講でカバーして頂くという苦勞もありました。

4 5 0 時間に及ぶ履修科目及び 12 時間の医療的ケア演習の全過程を修了された 4 名の方は、理事長から修了証明書を授与され、就労しながらの長く厳しい研修を終え、皆さんにほっとした表情が見受けられました。

感想を伺いますと、「実践の役に立つ本格的な研修であったので、今後は学んだことを実践していきます。」と、皆さん異口同音に話されていました。そして、このたびは、2 名の方が外国籍の慶徳会職員でしたので、言葉のハードルをクリアしての受講修了に喜びもひとしおのようでした。

なお、皆さんのうち、介護福祉士国家試験受験資格である「従業期間 3 年（1, 0 9 5 日）以上、かつ、5 4 0 日の実務経験」を満たす 2 名の方が、年明けの 1 月 29 日（日）に合格を目指して受験されました。

～コロナ禍で夏を楽しむ～ 子どもの家なつまつり

コロナ禍の夏休み終盤、令和 4 年 8 月 24 日（水）に、子どもの家では施設の中で楽しめるイベントを企画しました。名付けて『子どもの家なつまつり！』初めての試みでしたが、子ども達からは、口々に「ほんまもんの夏祭りみたい!!」と、嬉しい声が聴かれました。

みんな、浴衣や甚平に着替え、グループでお店を回ります。食堂は屋台コーナー☆9 店の屋台で、自分の好きなメニューを選ぶことができます。綿菓子やクレープ、たこせんに焼き鳥やソフトクリームなど、本物の屋台のようにお買い物を楽しみました！



大人気の「射的コーナー」



「人形スクイ」に興ずる女子児童たち

ゲームコーナーでは、ヨーヨー釣りや人形すくい、お面屋さんなどを回りました。特に人気だったのが射的コーナー。プロの屋台さながらの射的に子ども達は熱中していました。

開催にあたっては、感染予防のため、食事の時間帯をそれぞれのグループで分けましたが、それが功を奏し、混雑することなく、それぞれのペースで楽しむことができました。

子ども们的家では、残念ながらこの夏に多数のコロナ感染者が出てしまい、ゾーニングしながら、職員それぞれの担当部署を一生懸命に守りました。

コロナ禍の影響を受けた大変な夏でしたが、感染がようやく収まった直後のイベントということもあり、楽しい企画が成功し、職員としても感慨深く、また自らの成長を実感できたシーズンとなりました。子ども達からの、「楽しかった!」「またやりたい!」と嬉しい声も励みになりました。そして何よりも、子ども達にとって素晴らしい、夏の思い出になったことが最高の喜びです。

hana68-6

令和4年11月2日（水）、絶好の秋日和の中、茨木市立生涯学習センター「きらめき」で第21回「慶徳会秋華祭・文化発表会」を開催しました。

今回も昨年と同様、「収録動画での舞台発表」と「リモート配信」による開催を計画し、手探りで試みた前回の貴重な経験を生かし、さらに高レベルのイベントを目指して、準備を進めました。

引き続き「コロナ禍」での開催ではありませんが、お元気なご利用者や地域の皆様を中心に職員などを含め150名を超える方々にご出席頂きました。

第一部は「和太鼓DoーDa」様の賛助で出演による迫力満点の力強い演奏で、大会の成功を予兆するような素晴らしいオープニングとなりました。

続いて、「慶徳会の最近の歩み」について、真華苑の宮原雅美介護職員のナレーションで紹介し、式典では、矢次淳一大会顧問進行のもと、理事長の開会挨拶に続き、長年法人事業所にご支援下さっている皆様（後掲◎）と顕著な功績のあった職員に感謝状を贈呈させて頂きました。

引き続き、ご多用の中で臨席下さいましたご来賓の福岡洋一茨木市長様、上田嘉夫茨木市社会福祉協議会会長様から、それぞれ慶徳会の活動をご評価頂く、温かいご祝辞を頂戴致しますとともに、茨木市議会議長大野幾子様からご丁寧なメッセージが届けられました。

市長様には、展示会場にも足を運んで頂き、ご利用者の作品を丁寧にご鑑賞下さいました。その後の賛助で出演では、大会初出場となる太神楽曲芸師の豊来家玉之助様による大胆かつ華麗な芸の披露を初め、すっかりお顔なじみに

作品展をご熱心に鑑賞される福岡市長様（右）



第21回 秋華祭・文化発表会



「シャノンメドレー」に会場はウツトリ



会場を唸らせた豊来家玉之助様の舞台



中ひろみさんの「無法松の一生」に元気づけられました



見事な“オープニング”和太鼓「DoーDa」様

なつて頂いている、日本舞踊の桐彩扇先生の艶やかな舞、歌手の真奈尚子様そして中ひろみ様の素晴らしい歌声に魅了され、会場の皆様とリモート配信で観覧頂いたご利用者が一体となつて、大いに楽しませて下さいました。

第二部の舞台発表に移り、司会は、常清の里の瀬口和広介護職員としみずの益満沙也香生活支援員にバトンタッチされ、動画での発表を行いました。ご利用者の皆さんも昨年経験を積まれただけあつて、自然体で伸び伸びと、楽しんで参加されている様子がひしひしと伝わってきました。また編集についても各事業所がさらに趣向を凝らし、色々なツールを有効に活用した特色のある映像作品に仕上がっていました。

ご来場者からは、「楽しい時間をありがとうございました」「ございました」「とても感動しました」など、とても有難いお言葉を頂戴し、リモートでご覧になったご利用者からは「カメラワークが良くて見やすかった」「臨場感があつて良かった」と評判でした。

作品展示コーナーでは、ご利用者が丹精込めて作られた色とりどりの作品が賑やかに並び、訪れた方々が一つ一つの作品を熱心に鑑賞され、作品の素晴らしいさをご評価頂くお声も少なからず頂戴しています。

慶徳会は、一昨年創立90周年を迎え、次の節目である100周年に向けての第一歩を踏み出しました。これからも、ご利用者・ご家族を初め地域や関係者の皆様の温かいご支援とご協力を頂きながら、法人の発展とともに、さらに充実した発表会に成長してまいりますよう、思いを新たにいたします。

◎ 感謝状を贈呈した方
真奈尚子様
佐藤直樹様

敬老お祝い会

みんな サチアレ♪

令和4年9月19日（月・祝）、子どもの家からの「敬老お祝い会」を昨年に引き続きコロナ予防のため、花束と動画をプレゼントする形で行いました。

子ども達からの動画は、高齢者施設のご利用者の皆さんに向けた「サチアレ」という歌のダンスです。いつもは直接花束をお渡しするのですが、お会いできない分、これからも長生きしてね、との思いを込めて、笑顔いっぱい踊りました。楽しみながら取り組む姿は微笑ましく、動画撮影のときから職員もその楽しさに引き込まれてしまいました。

お贈りした花束とともに、笑顔の花満開の可愛いダンス動画をご覧頂くことができ、少しでも癒しの時間にして頂ければと願っております。



ダンス「サチアレ」で祝意を届ける子ども達



笑顔のメッセージを送る幼児さん

ですが、一日も早く感染が収まり、交流を再開できる日の来ることを子どもの家一同切に願っております。

毎年恒例で皆さんがとても、楽しみにされている納涼祭をコロナのために中止したくないという強い思いから、感染予防対策を万全にし、かつ、密にならないよう令和4年8月25・26日にグループ分けして開催しました。イベントでお祭り気分を味わって頂くとうと、職員が知恵を絞った手作りゲームを楽しんで頂き、スイカ割ゲームでは、なかなか思うように棒がスイカに当たらず、体がスイカに当たりそうになるほど勢いよく身を乗り出してチャレンジされ、スイカが割れた時には一斉に歓声が上がリ、応援している職員ともども、会場が一体となって、盛り上がりました。



「ザ・ファームユニバーサル」での集合写真



スイカ割を楽しむご利用者

他のゲームでは、「ヨーヨー釣り」や「千本引き」、「ワニワニパニック」など縁日気分を存分に味わって頂けたものと思います。

一方、発達支援センター「れふあ」では、1年余り自粛していた「お出かけ行事」を同年5月5日・こどもの日に、市内大岩の「ザ・ファームユニバーサル」に行きました。

～「しみず」～ 『吹き飛ばせ!コロナ』紹介

に歩いたり足踏みしたり、手で触つてみたりし、ふかふかしたその不思議な感触を楽しんでいました。

限られた時間でしたが、暖かでのぼのとした楽しいひと時を満喫しました。

「しみず」では「コロナ禍でもできること」を工夫し、ご利用者の笑顔とやり甲斐につながるような支援に今後も努めて参ります。